

松伏町下水道事業審議会

令和5年度第2回会議

会 議 録

令和6年1月25日（木）午後2時から

防災備蓄センター 2階会議室

松伏町下水道事業審議会・令和5年度第2回会議

会 議 録

|                        |  |
|------------------------|--|
| 会 議 の 名 称              | 松伏町下水道事業審議会・令和5年度第2回会議   |
| 開 催 日 時                | 令和6年1月25日(木) 午後2時から  |
| 開 催 場 所                | 防災備蓄センター 2階会議室   |
| 出席委員指名                 | 石塚 正太郎, 大島 智, 石川 忠夫, 田中 永昌,<br>後藤 正弘, 松下 英治, 川尻 勇  |
| 欠 席 委 員 氏 名            | 白川 喜次  |
| 担当課職員職氏名               | まちづくり整備課長 岡田 純明<br>まちづくり整備課主幹 望月 正行<br>まちづくり整備課主任 八木 弘樹  |
| 会議次第及び会議の<br>公開又は非公開の別 | 松伏町下水道事業審議会<br>1 開会<br>2 前回審議会の質疑等について<br>3 審議(下水道使用料の改定について)<br>4 その他(第3回の会議日程調整 他)<br>5 閉会<br>会議録を公開                         |
| 会 議 資 料 の 名 称          | 次第、委員名簿、資料5～資料7  |
| 会議録の作成方法               | <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録<br><input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録<br><input type="checkbox"/> 要点記録 |
| 会議録確認指定者               | 石川委員、田中委員  |
| その他の必要事項               | なし   |

松伏町下水道事業審議会・令和5年度第2回会議

|      |   |
|------|---|
| 司 会  | 開会のあいさつ   |
| 事務局  | 【配布資料確認、第1回審議会の会議録の確認、前回配布資料の確認】  |
| 石塚会長 | 会議を開会します。<br>審議に入る前に、議事録署名委員として石川委員、田中委員を指名する。<br>それでは審議を開始します。<br>事務局より説明をお願いします。                          |
| 事務局  | 【前回審議会の質疑等について説明】   |
| 石塚会長 | 事務局の説明について、質問はございますか。   |
| 川尻委員 | 下水道使用料の未納者の扱いはどうなっているのか。<br>受益者負担金の徴収猶予者はどれくらいいるのか。   |
| 事務局  | 下水道使用料は越谷松伏水道企業団で未納者に対し、徴収や催告を実施している。<br>令和5年度で受益者負担金の徴収猶予者の支払いは農地を含めてすべて完了した。<br>市街化区域の受益者負担金の支払いはすべて完了した。 |
| 石塚会長 | それでは、次第3. 審議に移ります。<br>第1回の会議に引き続き、「下水道使用料の改定について」の審議を行います。<br>事務局より、説明をお願いします。                              |
| 事務局  | 【下水道使用料の改定（3パターン）について説明】  |
| 石塚会長 | 事務局の説明について、質疑はございますか。   |
| 川尻委員 | 人件費は基準内繰入金に入っているのか。   |
| 事務局  | 基準内繰入金のうち、雨水処理に要する経費に按分して入っている。   |
| 松下委員 | 接続率100%ではないのは、道路に下水道管が敷設されているのに、下水道に切り替えていない住宅があるということか。  |

松伏町下水道事業審議会・令和5年度第2回会議

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>そのとおり。毎年未接続世帯について、エリアを絞って下水道接続の勧奨通知を行っている。</p> <p>接続が進まない理由として、接続工事の費用が高額というのが一つにある。</p> |
| 石川委員 | <p>外河原地区の未接続世帯が多いのではないかと。この地区の接続率向上を目指してほしい。</p>  |
| 事務局  | <p>未接続世帯への勧奨通知に、浄化槽維持管理費と下水道接続工事費の費用が比較できる資料を同封して、下水道の方が安価であることを表記している。</p>                 |
| 後藤委員 | <p>第1回と今回の資料で下水道使用料の上昇率の数字が異なるのは何故か。</p>  |
| 事務局  | <p>第1回は令和4年度の実績ベースで算出した。今回はこれからの5年間の人口減少や汚水量の減少を考慮した上での算出となっている。</p>                        |
| 後藤委員 | <p>決算状況の使用料収入不足額が、令和元年度から令和4年度にかけて減っているのは何故か。</p>   |
| 事務局  | <p>令和元年度から令和2年度で公営企業会計に切り替わり、会計処理の原則が変わったことや、コロナ禍で在宅者が増え、下水道の使用水量が増加したことが理由に挙げられる。</p>      |
| 石川委員 | <p>田島地区の産業団地は下水道区域か。</p>  |
| 事務局  | <p>産業団地は下水道区域なので、完成後は下水道使用料が見込まれる。</p>  |
| 石塚会長 | <p>資本的収支の企業債償還金は今後減少するのか。</p>   |
| 事務局  | <p>今後、大規模な設備投資は減少し、借入額が少なくなることで、それに伴い償還金も減少する見込みである。</p>                                    |
| 石塚会長 | <p>収益的収支の減価償却費も今後減少するのか。</p>  |
| 事務局  | <p>今後、大規模な設備投資は減少し、既存の施設や設備の償却資産額も減少するので、減価償却費も減少する見込みである。</p>                              |

松伏町下水道事業審議会・令和5年度第2回会議

|      |  |
|------|--|
| 大島委員 | 今後、設備投資は減少する見込みでも、設備の維持管理費用は増加していく。また、近年の社会的要因（電気料金の高騰等）による費用負担は大きい。   |
| 川尻委員 | 早急に経費回収率100%を目指さなくてもよいのではないか。<br>下水道区域外の人達にも、税金を投入していることを知って貰った方がよい。<br>審議会が下水道使用料の値上げの場となっている。平成29年度の審議会から開催間隔が空きすぎではないか。 |
| 事務局  | 令和4年度に開催予定だったが、ウクライナ情勢による燃料価格等の高騰で、下水道料金を上げる議論をするタイミングではないと判断し、開催を延期した。  |
| 川尻委員 | （前回を含めて）審議会の会議録は非公表か。  |
| 事務局  | 後日、公表する。   |
| 川尻委員 | 経費回収率を上げるために下水道使用料の値上げは仕方ないが、経費削減のための経営努力をするなどの意見を付けて答申案とすべきである。   |
| 石塚会長 | 町から、料金改定案3パターンが示されましたが、町としてはどの程度の料金改定を考えているか、意見をいただきたい。  |
| 事務局  | 経費回収率80%を目指すということで、B案を考えている。   |
| 石塚会長 | 審議会は全3回を予定。次回は最後となることから、答申案を審議する。  |
| 松下委員 | A案とし、段階的に下水道使用料を上げる方針がよい。下水道の接続率などを考慮し、3年後に使用料を見直す。  |
| 川尻委員 | A案とし、3年後くらいに下水道使用料を見直してもよい。  |
| 石川委員 | A案で、3年後に下水道使用料を上げるなら、一気に使用料を上げ、5年後くらいに使用料の見直しがよい。  |

松伏町下水道事業審議会・令和5年度第2回会議

|      |  |
|------|--|
| 後藤委員 | 次の審議会で終了なのか。初見では資料の内容が分からない。<br>可能ならば、事前に審議会の資料を貰えば助かる。<br>下水道使用料の改定案は、改定に向けて全体の方向性が定まっていればよいのではないか。   |
| 田中委員 | 今後の下水道事業の在り方を答申案に示すならば、A案でよいのではないか。  |
| 石塚会長 | 近隣市町の下水道使用料の状況をみると、改定時期には差があり、近い時期に近隣市町の下水道使用料の改定の可能性を踏まえてA案を答申案とし、改定から3年後を目途に使用料改定の審議会を開催する。<br>なお、答申案には付帯事項として、経費削減の努力や水洗化率向上などを明記することで異議は無いか。 |
| 審議委員 | 異議なし。<br><br>(他に質問や意見がないことを確認)   |
| 石塚会長 | 以上で本日の審議会を終了します。   |
| 事務局  | 第3回の会議日程について、2月21日(水)14時開催とし、会場の予約状況を確認し、決定次第、速やかに通知する。  |

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 6 年 2 月 8 日

会 長 石塚 正太郎

署名委員 田中 永昌

署名委員 石川 忠夫